

仁志

社会福祉法人 豊生会 彩幸
http://care-net.biz/23/houseikai/

豊橋彩幸

特別養護老人ホーム・ショートステイ
デイサービスセンター・軽費老人ホームケアハウス
居宅介護支援事業所・地域包括支援センター
〒441-3213 豊橋市西赤沢町字深山95
TEL.0532-23-6011 FAX.0532-23-6010

豊川彩幸

軽費老人ホームケアハウス・デイサービスセンター
居宅介護支援事業所
〒442-0846 豊川市森6丁目66-2
TEL.0533-88-9771 FAX.0533-88-9772

ご挨拶



施設長
山口直弓

桜のつぼみも花開き、季節は春となりました。まだまだ体調を崩しやすい時期ですがみなさんお元気に過ごされていますか？巷では、花粉症が猛威を振るっています。実は、

私も花粉症で非常に辛い時期を過ごしています。ただ、多くのアレルギーが体質改善と免疫力アップによって改善するように花粉症も改善すると言われています。健康な体作り、バランスの取れた食生活を心がけ、花粉症に打ち勝ちましょう。

さて、私は、豊川彩幸施設長就任から早いもので丸4年を迎えようとしています。就任当時の目標である人間像に近づくことが出来たのか？また、目標は達成できたのか？？？まだまだ近づくことも出来ません。ただ、ここまで過ごせたのは、やはり利用者の皆様や職員のおかげだと感謝しております。デイサービスやケアハウスのフロアで顔を会わせると利用者の皆様が笑顔で「おはよう」と声をかけてくださったり、「忙しくて大変だね」などねぎらってくださいたり、また、職員との会話から元気をもらったり…。くよくよ悩んでいても、その笑顔や言葉にどれだけ救われたか知れません。そして

いつも不思議に感じるのは、皆様の元気や笑顔はどこからくるのか？？少し前にこんな言葉に出会いました。

「歳月は肌にしわを生むが、関心を失うと魂にしわがよる・・・希望は若さであり、絶望は老いである・・・」

私もこの言葉のように自己の心を元気にさせることで、利用者の皆様それぞれの自立支援を目指して一緒に歩んでいきたいと考えております。どうぞ、これからも宜しく願います。



小林 敬子 画



新しい春が来ました!



豊川のケアハウスでは、なぜか盛り上がり度の上位ランキングに位置する節分行事！今回はその一場面をご紹介します。

節分を前にして、まずは邪気祓いの準備、恒例となったお面作りを行います。画用紙に描かれた絵に思い思いの色を乗せていき、カラフルな鬼とやさしい面持ちの福の神のお面が今年も完成しました。

そして、2月3日節分の午後、毎年、豊川のケアハウスでは、みなさん自分の部屋でお面をかぶってそわそわ…？何故かというと、毎年鬼が一部屋毎に出没するから！今年は赤鬼と青鬼が出没?!家主と一緒に外に2回「鬼は〜外っ!鬼は〜外っ!」なかに2回「福は〜内っ!福は〜内っ!」と普段出さなような大きな声で豆をまいて、パチリと記念撮影。写真には福を呼び込んだ笑顔がたくさん並びます。

夕食時に、食堂でも豆まきをして特製太巻きを恵方に向かって食べてすべ

て終了。「昔は太巻きを食べる風習なんて聞いたことないけどね。でもおいしいからいいよね。」なんて会話も弾みながら夜まで賑やかな節分が今年もありました。



節分って何???

節分とは、本来季節の変わり目（立春・立夏・立秋・立冬）の前日を指す言葉です。特に立春のことを暦の上で季節が一巡してまた新たな年が始まる日と考えることから、その前日である節分に一年の厄を祓う行事がとり行われるようになり、いつしかその行事自体を節分と呼ぶことが定着していったものだそうです。

豆をまくのは、魔の鬼の目。魔目「魔がけて豆を投げて、魔滅（まめ）

“魔を滅する”という意味が込められているのだとか、漢字のことば遊びみたいですよね。



がんばっている人を紹介します！

いつも元気なAさん。自分の事は何でも行なっていました。九十五歳の2月に転んで骨折し入院してしまいました。

Aさんはリハビリを一生懸命頑張り、歩けるようになるまで回復し退院。元気にデイサービスへ通えるようになりました。

しかし、4月に二度目の骨折がAさんを襲います。右大腿骨骨折にて手術を行ない、その影響で右足が4センチも短くなりました。病院側から「もう歩くのは難しいのではないか」と言われますがAさんは「歩く」と強く希望しました。

病院関係者と検討を重ね、右足の靴の底あげ、シールカーに4キロの重りを乗せての歩行などAさんが再び歩けるようになるための調整が行なわれました。辛いリハビリが続く中でも持ち前の明るさで、病院中に響くくらい大きな声で歌を歌い、病院内を明るくしていました。

退院の日、Aさんのお見送



りには、お医者さん・看護師さんはじめ病院のみんなが玄関に並びました。



家に帰り、心配する家族をよそにAさんは「大丈夫」と余裕の笑顔。Aさんの希望は「家で家族とのんびり過ごし、近所の友達とデイサービスで楽しくほがらかに過ごしたい」

そうして、今は希望どおり再び暖かい家族に囲まれ、デイサービスでもお友達と話に花を咲かせ幸せに暮らしています。デイサービスでは百歳を目標に、現在も日々の生活がリハビリと頑張っています。車椅子には乗らずシルバーカーで元気に歩き、毎日かかさず新聞を読み、大好きな歌を元気にうたっています。

転んでも転んでも目標を持って頑張るAさんに、私達ケアマネも勇気を頂いています。Aさんのように目標を持って在宅生活を送られる方のお手伝いができれば幸いです。



● 介護相談のご案内 ●

日 時 毎月第2・4土曜日

午前10時〜午後4時頃まで

場 所 豊川彩幸

ご希望に応じて送迎いたします

問い合わせ

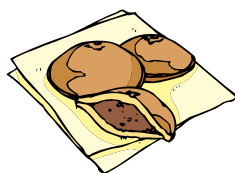
居宅介護支援事業所 豊川彩幸

☎ 〇五三三二一八八―九七七―一

おやつ作りランキング

3ヶ月に一度おやつ作りを実施しています。女性利用者様には「もう少し塩を入れたほうが甘くなるよ」「しっかりとこねた方がいい」とアドバイスを頂いています。

- 第1位 黒ゴマ八つ橋
- 第2位 さつま餡パイ
- 第3位 じゃぶ焼き



黒ゴマ八つ橋は作り方も簡単で、とてもおいしくできました！

おやつ作りでは普段見学されている男性利用者様も積極的に参加されています。

黒ゴマ八つ橋は大変好評でした。良かったら皆さんも挑戦してみてくださいー！

黒ゴマ八つ橋の作り方 材料(9人分)

- ・白玉粉…300g
- ・上新粉…60g
- ・黒ゴマクリーム…大さじ2
- ・水…大さじ5
- ・砂糖…60g
- ・こし餡…100g
- ・きな粉…適宜

作り方

- ① ボウルに水を半分と白玉粉を入れて練り、次に残りの水と砂糖を入れてよく混ぜます。
- ② ①に黒ゴマクリーム大さじ1杯を入れて混ぜ、更に上新粉を入れてよく混ぜます。
- ③ 蒸気の上がった蒸し器にクッキングシートを敷き、そこへ②の生地を入れ強火で15分蒸します。
- ④ こし餡に残りの黒ゴマクリームを入れて混ぜます。
- ⑤ 蒸しあがった③の生地をクッキングシートで包むようにし、なめらかになるまでもみます。
- ⑥ 更に別の広めのクッキングシートで、きな粉をふりながら、麺棒で生地を四角く伸ばしていき、9つにカットし餡を中に入れ三角に折ると出来上がりです。



パン教室

パン教室は人気が高く木曜日に加え水曜日の教室も追加されました。水曜日メンバー・木曜日メンバーのランキングの違いにご注目！

◆水曜日メンバー

- 第1位 メロンパン
- 第2位 レーズンパン
- 第3位 マドレーヌ
- 第4位 人参パン
- 第5位 ごまパン



◆木曜日メンバー

- 第1位 メロンパン
- 抹茶パウンドケーキ
- 人参パン
- レーズンパン
- オニオンロールパン
- 第5位



メロンパンはどちらのメンバーにも大人気でした。手間暇かかりましたが、作り終えた後の利用者様の達成感に満ち溢れた笑顔が印象的でした。

今回は利用者様のご意見・要望などランキング形式にしてみました。

外出行事ランキング

普段なかなか自分では出掛けられないと外出行事は大人気なんです！

- 第1位 ラグーナ蒲郡・大塚海浜緑地公園
- 第2位 三河国分尼寺跡
- 第3位 桜トンネル
- 第4位 アピタ
- 第5位 八幡八幡宮



三河国分尼寺跡のはなし

三河国分尼寺は奈良時代天平十三年に天武天皇は「仏教の力に頼りその加護によって国を守る」という鎮護国家の思想に基づき、国分寺と国分尼寺を建立する詔をだしました三河国分尼寺は8世紀後半に完成しました。

当時の姿を再現する為になんと〇〇億円かけて復元したんですって。その金額に驚きを隠せませんでした。

その昔は七重の塔があったそう。ガイドの方が詳しく説明してくださり、利用者様も興味深く聞いておられました。

皆さんも是非よみがえる天平の遺産に足を運んでみてください。



豊川彩幸でやってみたいランキング

- 第1位 氷川きよしのコンサート
- 第2位 回転寿司にいきたい
- 第3位 喫茶店へ皆でいきたい

その他「今もいろいろやってくれるからこのままでいい」とのお声をたくさん頂きました。

これからも皆さんに楽しんで頂ける様、職員一同力を合わせ頑張ります。

興味がある事、挑戦してみたい事があればどしどし意見をお寄せください！

現在こんな事を行っています。

・ボランティア交流

(陶芸・習字・太極拳・日本舞踊・手芸)

ハワイアンバンド・フラダンス・琴演奏など

・学生交流

(和太鼓・バイオリン・演劇・落語など)

・保育園交流会

(園児との交流では自然と

笑顔が出て和やかな

時間が流れます。)



ハリキリ 文化祭!! ステージ発表

～ザ・フラダンス～

2階では、チームのステージ発表は「みんなで楽しく体を動かしたい」との思いからフラダンスを踊る事に決めました。

職員もフラダンスをやるのは初めてのことで、うまく利用者の方々に教えられるか不安がいつぱい。ためにDVDでフラダンスを流してみると、自然と興味を持って集まってくる利用者の方が何人もいて、気がつく利用者の方も職員も体を揺らしながら楽しく踊っていました。

もちろん上手にはいきませんでした。笑顔や笑い絶えず、練習の場での空気はいつも温かいものでした。

本番当日まで不安は残りましたが、「とにかくみんなで楽しみたい」という気持ちとやる気だけは充分にありました。参加される方の中には、人前に出るのは恥ずかしいと遠慮される方や、上手く踊れるか不安だと心配される方など、みなさんそれぞれの思いがあったようです。

しかし、本番当日、用意したお揃いの衣装や様々な色の華やかなレイ（首飾り）を身に着けると普段とは違った笑顔が見られました。特別な日ということでお化粧をすると「私にもやって」と参加される方以外の方まで集まって来られ、フロアーはとてにぎやかな雰囲気になりました。

そしていよいよ舞台発表…トッパッターということで舞台上で待機している際には、緊張されている表情が見られましたが、実際に踊ってみると、温かい歓声や手拍子にはげまされ、一緒に踊ってくださった方々もいて、予想以上に盛り上がり、本当に楽しく踊ることが出来ました。

終了後、「楽しかったよ」「ありがとつ」「またみんなで一緒にやりたいね」と笑顔で話してくださる、利用者の方にとっても職員にとってもまた一つ忘れられない大きな思い出となりました。



～ファッションショー～

3階では文化祭のステージ発表の企画として、ファッションショーを行いました。

昔なつかしい着物やもんぺ、若い頃を思い出してしまうような学生服やセーラー服。また、制服ではブレザーや現代風のコーディネートなどを利用者さん入所さんと職員と一緒に着て舞台上がりました。

着替えをしている時からとても楽しそうな様子で笑顔もいつも以上にみられ、「これを着て踊ればいい？」などと、笑顔で話しをされていました。

いよいよ本番になり、順番に舞台上がり歌や踊りを披露しました。

舞台発表が終わり感想を聞いてみると、「とても楽しかった」

「若い頃を思い出した」「もう一度青春時代に戻りたい」と、笑顔で話してくださいました。

準備で大変な事などありましたが、みなさん楽しく参加し大成功する事ができました。利用者さん入所さん、職員共に思い出に残る舞台発表ができてとてもよかったです。



趣味の小窓



今回は、お裁縫が得意な白井りつさんにインタビューをしてみました。余暇時間には、趣味とりハビリを兼ねて刺し子をしています。

Q1 昔はどんな縫い物をされてましたか？

若い頃は、紋付き・袴をよく作ったよ。

Q2 洋裁もされるのですか？

少しはできるよ。昔は子供の服も自分で作ったよ。いろんな型紙があつてね、それを使ってよく作ったよ。

Q3 縫い物の他に、楽しみにされていることは？

植物を育てるのも楽しいね。今はスイートピーと矢車草を育ててるよ。花が咲くのが待ち遠しいね。

ありがとうございます。これからも色々な事にチャレンジして下さいね。完成した作品（刺し子）は2階に展示してあります。皆さん、是非見に来て下さいね



エアロビクスで
今日も楽しく健康づくり



「はい、右手を高く挙げて👏その手をクルリと回します。続いて足踏みを元気良く!!」

軽快なリズムに合わせて、先生の明るく元気なかけ声が今日もフロアーに響きます。入所者の方々が毎月、心待ちにされている『らくらく体操の会（ポランティア）』の皆様によるエアロビクスの始まりです。

（きょしゃの窓からハシケチ振れば…）

昔懐かしの曲に誘われて、入所者の皆さんが次々と集まってきます。踊っているうちに身体が温まり、思わず気持ちも弾みます。



最近ではお互いが顔なじみとなり、ポランティアさんの中には「○○さん、今日もお元気そうで…」と名前で呼びかけて下さる方も見えます。また、ポランティアさんの輪に混じって、自ら前に出て踊る入所者の数も、4人・5人と会を重ねるごとにだんだんと増えてきています。

そして職員の方も、日頃の運動不足解消にと入所者の皆様と一緒に夢中で体を動かす今日この頃です。

運動会



レクリエーションの一貫として『運動会』を行いました。玉入れ・パン食い競争・箱の中身当てゲーム・風船バレーなどを行ったところ、とても好評で皆さん若い頃を思い出し、笑顔を見せられる方や、真剣な表情をされる方など様々おられました。その中でも特に楽しんでいた競技は「パン食い競争」でした。□ではなく手を使ってパンをキャッチされる方もいらつしやいましたが、「楽しかったよ」「上手くできないからあんたやって」「昔にやったことがあるよ」など様々な感想が聞かれました。こんな真剣で、かつ楽しそうなお顔はなかなか見ることができません。そんな楽しそうな皆様の表情をご紹介します。いただきます。

白熱のパン
食い競争



お楽しみの
ひと時



赤組ファイトー、エイ、エイ、オー!!

秋のおでかけ



秋晴れのいいお天気に二川宿本陣へ出かけました。東海道五十三次、三十三番目の宿場の二川宿。江戸時代の旅や暮らし、大名行列の模型など昔の貴重な資料を見学しました。旅籠屋「清明屋」を見て、ろう人形の前で記念写真をパチリ!!



ろう人形の前で記念写真

その後、ホテル日航の日本料理「藤さわ」でランチを食へホテルの最上階で豊橋の街を一望する人、おみやげを買う人、ロビーで休む人それぞれ自由時間を楽しみ、満足そうにほほ笑んでいました。

豊橋南高校へ行ってきました

南高校生活デザイン科の卒業制作発表会に招待され行ってみると、高校生の生徒さん達の作品が数多く展示されていて、まずは、カラフルなステンドグラスに引きつけられ、アイデア満載のタペストリーに見入ってしまいました。

ウエディングケーキの甘い香りや、シフォンケーキ・クッキーの販売もあり買い物を楽しむ人もいました。

先生の呼びかけで、先生や生徒さんとの記念写真を撮る事ができました。皆さん、いい表情です!!



南高校の先生や生徒さんとの記念写真

先生や生徒さんの心配りに満足した一日でした。

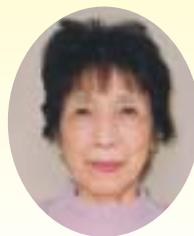
ケアハウスの新しいお友達を紹介します。

氏名…真田伊都子いっこさん
平成21年1月入所

趣味…編み物・読書

・ドライブ

一言…健康第一で楽しく明るく長く元気にケアハウスで生活できるように願っています。



氏名…萩原 曠ひろしさん
平成21年2月入所

趣味…車・釣り(海が好き)

一言…これから仲良くして下さい。



よろしくおねがいます。

お口の体操
『パンダのたからもの』



突然ですが、私は食べることが大好きです。家族や友人など気心の知れた人たちと、おいしいご飯を食べている時はとても幸せです。

特養利用者の皆様に希望調査を行うと、「おいしいものが食べたい」「お寿司が食べたい」など、食事の希望がとても多く聞かれます。

超豪華!! 海鮮丼



タイトルの「パンダのたからもの」というのは、ご飯をおいしく食べるためのおまじないです。

「パ」を発音する時には唇が開まり、口唇の運動になります。口が開いたまま発音しようとすると、うまく出来ません。

「タ・ダ」を発音すると、舌が上顎にくっつきます。この舌の動きは、口の中の食べ物をうまく取り込む動作と同じです。

「カ」を発音することで、鼻咽腔というノドと鼻がつながる部分が鍛えられます。

「パンダのたからもの」を繰り返すことで、食物を上手に飲み込むための練習が出来る様になっています。これは、わたしが看護学校の実習の時に、ある病院の歯科衛生士さんに教えていただきました。ちなみに、「田んぼのガラスがラッパを吹いた」でもいいそうです。

また、歌を歌ったり、笑ったりすることも、脳の活性化にも飲み込むための練習にもとても良いそうで、彩幸の利用者の皆様に、楽しく健康（健康）に過ごして頂きたいと思います。

特養 医務 見城 香



栄養士が新しく変わります

6月から彩幸に仲間入りした管理栄養士の遠藤美季です。栄養士としての経験は浅いですが、利用者さんが楽しく食事を出来るように頑張りたいと思いますよろしくお願いします。



長い間お世話になりました。
田中知鶴

ショートステイ 彩幸 職員



白井 由一さん

結婚おめでとう!!

H20.11.15 挙式

彩幸地域包括支援センターだより

包括支援センターでは、毎年「家族介護者交流会」を開催しています。

今回は2月に「認知症座談会」と題して、認知症の方を介護するご家族にお集まりいただきました。

最初に簡単な自己紹介と介護の悩みを一人一人お話いただきました。その後、ざっくばらんに介護者の方向士が悩みを語り合い、また、アドバイスをし合い、あっとい間に時間が過ぎました。参加者の方からは、「同じ悩みを持った方と話をして、気持ちが少し楽になった」「家族同士が話せる機会があれば、また参加したい」等、御意見をいただきました。参加して下さった皆さん、貴重なお時間をいただきましたありがとうございます。

今後、年一回は「認知症座談会」を行っていききたいと思います。皆さんのご参加、お待ちしております。



居宅介護支援事業所彩幸

キラリ☆輝き人

村越 勇さん (82歳)

村越勇さんの趣味は、詩作です。

詩作のスタイルは、ポツと頭に浮かんだ時に、すかさずメモを取る。就寝中でも書き留めるとの事なので、村越さんにとって、詩作は生活の一部と言っても過言ではありません。そうして、月に2〜3の散文詩を完成させると仰います。

★ 戦時中は海軍特攻隊として航空機を操縦し、仕事は技術畑を歩んでこられました。一方で、昭和25年頃から、小説・童話などを、「らくがきみたいに書いてきた」と、ご本人ははにかみます。

★ 本格的に詩作に取り組み出したのは、平成12年頃から。その年の9月に、広報の公募に出展した詩が、見事！特選に選出されたのです。その後、同じ詩作を趣味とする仲間たちと会を結成し、1年に1度詩集を出版しています。

★ 平成19年夏に大病を患い、4ヶ月近くの入院生活を余儀なくされます。脳梗塞の後遺症で右麻痺が残り、病院からは左手を利き手にしていくよう勧められました。しかし、「出来ない」と云うな。どうしても出来るか考えろ」との不屈の精神と、前述の詩作スタイルが再び右手でペンを取る事を可能にしました。村越さんの次なる目標は、もう一度車を運転する事。その為に今日も一歩一歩着実に歩みを進める村越さんです。



清書はワープロで。只今パソコンにも挑戦中！

旅立ち

村越 勇

少年は多くを学ばんと家から遠く一人で暮らす決心をして旅立った

見知らぬ街見知らぬ人々未知の生活それぞれが少年を成長させ一人前に育ててくれる

新たな友との出会いライバルともなり良き相談相手ともなる数多くの友をもつがよい

親はあれもこれもと心配するが誰もが一生親 兄弟 姉妹と暮らせるわけがなく思い立ったら早々に自立して己を磨くがよい

デイサービスだよ

春の陽気が感じられるようになりましたが、暖かい日が待ち遠しいですね。ここデイサービスセンター「彩幸」でも、そんな「ほっと」として頂けるような場やサービスを提供していけるよう今後も努力してまいります。

敬老会&文化祭

今年度の敬老会恒例の寸劇は「一寸法師」でした。凝った作りの小物や衣装にお年寄りは、熱の入った演技です。

職員は、途中セリフを忘れ、アドリブが飛び交う等、迷？演技にて大爆笑を誘いました。そして、十一月二十九日の彩幸文化祭でも同様の寸劇をデイサービスの舞台発表として演じさせて頂きました。出演したお年寄りにも助けられ無事、大役を果たしました。



餅つき大会

年末の恒例行事として、餅つき大会を行いました。つき手もかえし手も経験豊富な方ばかり。職員が逆にご指導を受ける様子でした。



勿論、お味は美味でしたよ。

お楽しみ会

これまた、年末の恒例行事としてお楽しみ会を行いました。昼食時には、鍋（今年はすき焼き）を囲み、午後からは、余興を行う忘年会的な内容です。余興では、ドジョウすくいやヒゲダンスなどを披露し、皆さんで大笑い。「芸は身を助ける」とはこの事です。また、サンタやトナカイに扮した職員より彩幸宝くじとして、新年の運試しを行いました。



アロマ・ハンドケア

午後からのレクリエーションとして好評なのが「アロマ・ハンドケア」です。主にハンドマッサージとフットバスを行います。浮腫みの軽減、血行促進、リラククスなど、大好評です。来年度からはもっと多くの方に楽しんで頂けるよう回数を増やしていく予定です。



文化祭 一品寄付バザー

H20・11・29(土)

彩幸家族会では、今年も会員の皆様にご協力いただき、文化祭でバザーを行いました。実は、4月の時点では、家族の方のご負担を考えると2年続きの一品寄付は難しいだろうと、今年のバザーをお休みするつもりでした。ところが、家族会総会にて「今年もやろう!」と、皆さんからの熱い声上がり、二年続けてのバザー開催となりました。総売上四千九百七十六円。本当にたくさんの方に協力いただきました。

収益は全て、彩幸家族会に寄付させていただきます。ありがとうございました。ございました。

また文化祭当日には、今回もたくさんさんのボランティアアさんに来て頂きました。急なお願いにもかかわらず、ボランティアに来て下さった皆さん本当にありがとうございました。ございました。皆さんのおかげで楽しい文化祭になりました!!



彩幸お色なおし



12年が経ち、彩幸の外壁もすっかり汚れてしまったため、このたび塗り替えることになりました。「何色になるの?」職員も入所者も興味津々です。虹のマークの彩幸ですが、虹色ではちょっと困る。

清潔感があって温かい色に…職員の意見も取り入れて決めました。

さてさて、どんな色になったでしょうか。工事中は、皆様には大変ご迷惑をおかけいたしました。リニューアルした彩幸をぜひ見に来て下さい。

総合防災訓練 H20.9.26 (金)



豊橋南消防署の皆様の協力をうけ、迫力の訓練を行いました。

おめでとうございます。

勤続10年表彰

| | |
|-------|--------|
| 夏目二美世 | 12年9ヶ月 |
| 森下 晃次 | 12年9ヶ月 |
| 山本 員由 | 12年9ヶ月 |
| 星野 奈奈 | 12年9ヶ月 |
| 岡本 朋和 | 12年7ヶ月 |
| 村松 寛泰 | 12年5ヶ月 |
| 齊藤ゆう子 | 11年9ヶ月 |
| 中澤千代美 | 10年9ヶ月 |

愛知県老人福祉施設協議会より8名の職員が勤続10年の表彰を受けました。これからも頑張ります。

編集後記

なにをかくそう、私も勤続10年となりました。

入社時は、まだ介護保険施行前! この十年で制度も職員も、めまぐるしく変わっていきました。今は、親子ほど年の離れた職員と、仲良く働いています。

私が10年も働いて来れたのは、バインアウトするほど理想に燃える性格ではなかった事と、福祉を仕事として生きてきた自分の価値観や正義を曲げることなく働かせてもらえた職場のおかげだと思って、感謝しています。

そして、どうしても意見が違った時に、お互いの意見を尊重しながらもぶつかり合って話し合える同僚がいたこと…これが勤続の一番の理由かもしれません。

これからも、よろしく。